

# 平成25年度

自 平成25年4月 1日  
至 平成26年3月31日

## 岩舟町一般会計及び特別会計決算 並びに基金運用状況審査意見書

栃木市監査委員

栃市監第52号  
平成26年8月19日

栃木市長 鈴木俊美様

栃木市監査委員 藤沼康雄

栃木市監査委員 千葉正弘

平成25年度岩舟町一般会計及び特別会計決算  
並びに基金運用状況審査意見書について

地方自治法第233条第2項及び第241条第5項の規定により審査に付された平成25年度岩舟町一般会計及び特別会計決算並びに基金運用状況を審査いたしましたので、次のとおり意見書を提出いたします。

# 目 次

1	審査の対象	1
2	審査の期間	1
3	審査の方法	1
4	審査の結果	2
5	総括意見	3
6	決算の概要	5
(1)	決算の状況	5
(2)	予算の執行状況	6
(3)	一般会計	7
ア	決算の状況	7
イ	歳入	7
ウ	歳出	9
(4)	特別会計	10
	国民健康保険事業特別会計	10
	後期高齢者医療特別会計	12
	介護保険事業特別会計	14
	公共下水道事業特別会計	16
7	財産に関する調書について	18
8	運用基金の状況について	18

平成25年度岩舟町一般会計及び特別会計決算  
並びに基金運用状況の審査意見

## 1 審査の対象

平成25年度一般会計歳入歳出決算  
平成25年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算  
平成25年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算  
平成25年度介護保険事業特別会計 歳入歳出決算  
平成25年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算  
平成25年度財産に関する調書  
平成25年度基金運用状況調書

## 2 審査の期間

平成26年7月8日から平成26年8月18日まで

## 3 審査の方法

予算執行の適正さ、業務の効果・効率性、さらに合併直前における予算執行の妥当性という視点も加え、下記により審査を行った。

- (1) 歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、関係諸帳簿等の照合、点検。
- (2) 関係職員の意見聴取を踏まえた予算執行の適否に関する審査。
- (3) 財産に関する調書については、調書、関係帳簿等の照査、正確性の審査。
- (4) 基金運用状況調書については、関係諸帳簿・証ひょう書類の照査、内容及び運用状況の審査。

#### 4 審査の結果

- (1) 関係書類はいずれも法令に準拠して作成されており、計数も正確であると認められた。
- (2) 会計帳簿及び証ひょう書類等の計数は正確で、内容は妥当なものと認められた。
- (3) 予算執行状況等の適否については、関係職員から聴取し、審査した。
- (4) 財産に関する調書は、年度末現在高を明確に表示し、計数はいずれも正確であると認められた。
- (5) 基金の運用状況は、基金出納簿及び関係証ひょう書類と符合し、設置目的に従い、適正に運用されていると認められた。

\* 意見書中の計数、比率等についての注意事項

- ・ 比率 (%) は、小数点以下第 2 位を四捨五入した。
- ・ 構成比率において、合計が 100 となるよう一部調整したものがある。
- ・ 0.1 未満の数値は、「0.0」と表示した。

## 5 総括意見

平成25年度は栃木市との合併を目前に控え、合併協議等に追われる年だったと思われるが、決算状況を見ると、一般会計と特別会計を合わせた総額は、歳入 111 億 6,950 万 1,371 円、歳出 107 億 8,190 万 175 円であり、歳入から歳出を差し引いた形式収支額は 3 億 8,760 万 1,196 円であった。

一般会計では、歳入 73 億 2,423 万 3,039 円、歳出 69 億 4,589 万 7,825 円となっており、歳入においては町税 20 億 3,916 万 9,607 円と地方交付税 16 億 3,198 万 7,000 円との合計が歳入全体の約 5 割を占め、歳出においては総務費 12 億 4,989 万 6,969 円、民生費 17 億 1,265 万 3,716 円、教育費 12 億 8,175 万 4,932 円の合計が歳出全体の約 6 割を占める結果となった。

また、特別会計では、歳入 38 億 4,526 万 8,332 円、歳出 38 億 3,600 万 2,350 円となっており、国民健康保険、介護保険の合計が歳入歳出ともに特別会計全体の 8 割以上を占める結果となった。

歳入全体を見ると、町税をはじめとする多額の収入未済額が気になるところであるが、これは平成26年4月5日に栃木市と合併したことにより、岩舟町としての出納整理期間が4日間であったことによるため、これをもって収入状況の良否を判断することは難しい。近年はいずれの自治体においても歳入が非常に厳しい状況にあるので、合併後においては、収入未済額を解消できるよう、特段の努力を望むものである。

歳出については、教育費、総務費及び土木費が増額しているが、全体としては良好であった。

しかし、合併を目前に控えた平成25年度に、総合支所建設事業費として2億1,365万3,670円をかけた岩舟総合支所の建設、(仮称)岩舟町地域活動支援センター整備事業費として、2億3,601万1,576円をかけた(仮称)岩舟町地域活動支援センターの建設など、建設工事を立て続けに行ったことについては、合併を迎える自治体において

時折見受けられることとはいえ、決して好ましいものではない。今後は、市民から誤解を受けることのないよう慎重な判断を求めるものである。

最後に、栃木市と岩舟町の合併による相乗効果を発揮し、新しい「栃木市」として、新たな魅力を創出し、行政サービスを提供できる財政基盤の確立を図るよう期待するものである。

## 6 決算の概要

### (1) 決算の状況

歳入 111億 6,950万 1,371円 { 一般会計 73億 2,423万 3,039円  
 特別会計 38億 4,526万 8,332円

歳出 107億 8,190万 175円 { 一般会計 69億 4,589万 7,825円  
 特別会計 38億 3,600万 2,350円

歳入歳出差引額（形式収支額） 3億 8,760万 1,196円

### 《会計別決算状況》

(単位:円)

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳計剰余金
一般会計		7,324,233,039	6,945,897,825	378,335,214
特別会計	国民健康保険事業	1,852,480,025	1,926,679,619	△ 74,199,594
	後期高齢者医療	157,565,648	154,132,775	3,432,873
	介護保険事業	1,346,754,796	1,269,235,662	77,519,134
	公共下水道事業	488,467,863	485,954,294	2,513,569
	小計	3,845,268,332	3,836,002,350	9,265,982
合計		11,169,501,371	10,781,900,175	387,601,196



## (2) 予算の執行状況

(単位:円)

区 分	一般会計	特別会計	合計
① 歳入総額	7,324,233,039	3,845,268,332	11,169,501,371
② 歳出総額	6,945,897,825	3,836,002,350	10,781,900,175
③ 形式収支額 ①-②	378,335,214	9,265,982	387,601,196
④ 翌年度へ繰り越すべき財源	0	0	0
⑤ 当年度実質収支額 ③-④	378,335,214	9,265,982	387,601,196

歳入決算額は 111 億 6,950 万 1,371 円であり、総予算額 116 億 2,223 万 6,000 円に対して 96.1%、調定額 119 億 4,781 万 7,954 円に対して 93.5%の収入率となっている。

収入未済額は 7 億 5,006 万 2,232 円であり、一般会計 3 億 1,361 万 6,613 円、国民健康保険事業特別会計 3 億 7,703 万 3,440 円、後期高齢者医療特別会計 183 万 4,683 円、介護保険事業特別会計 3,321 万 7,032 円、公共下水道事業特別会計 2,436 万 464 円である。

一方、歳出決算額は 107 億 8,190 万 175 円であり、総予算額に対し 92.8%の執行率となっている。

不用額は 8 億 4,033 万 5,825 円であり、一般会計 5 億 4,330 万 9,175 円、国民健康保険事業特別会計 1 億 4,332 万 381 円、後期高齢者医療特別会計 546 万 7,225 円、介護保険事業特別会計 1 億 3,136 万 4,338 円、公共下水道事業特別会計 1,687 万 4,706 円である。

### (3) 一般会計

#### ア 決算の状況

歳入 73億2,423万3,039円 (対予算現額 97.8%)  
 歳出 69億4,589万7,825円 (対予算現額 92.7%)  
 形式収支額 3億7,833万5,214円

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成25年度
① 歳入総額	7,324,233,039
② 歳出総額	6,945,897,825
③ 形式収支額 ①－②	378,335,214
④ 翌年度へ繰り越すべき財源	0
⑤ 実質収支額 ③－④	378,335,214

#### イ 歳入

(単位：円・%)

区 分 \ 年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成25年度	7,489,207,000	7,650,014,374	7,324,233,039	12,164,722	313,616,613	97.8	95.7

収入済額は73億2,423万3,039円であり、予算現額に対して97.8%、調定額に対して95.7%の収入率となっている。

主なものは、町税20億3,916万9,607円、地方交付税16億3,198万7,000円、繰入金6億5,808万9,037円、町債10億5,878万6,000円である。

収入未済額は3億1,361万6,613円であり、主なものは町税1億6,499万3,662円である。

【 町 税 】

(単位:円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成25年度	2,020,192,000	2,216,320,991	2,039,169,607	12,157,722	164,993,662	100.9	92.0

収入済額は 20 億 3,916 万 9,607 円であり、予算現額に対して 100.9%、調定額に対して 92.0%の収入率となっている。

今後は特に徴収を強化し、市内の納税者間で公平を欠くことがないよう努められ、収入未済の解消を図られたい。

《科目別収入状況》

(単位:円・%)

年度 区分	平成25年度	
	収入済額	構成比
町 民 税	888,193,591	43.6
固 定 資 産 税	976,003,456	47.9
軽自動車税	39,300,375	1.9
町たばこ税	135,572,185	6.6
特別土地保有税	100,000	0.0
計	2,039,169,607	100.0

ウ 歳 出

区 分 年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	執 行 率	翌年度繰越額	不 用 額
平成25年度	7,489,207,000	6,945,897,825	92.7	0	543,309,175

決算額は69億4,589万7,825円であり、予算現額に対して92.7%の執行率となっている。

支出の主なものは、総務費12億4,989万6,969円、民生費17億1,265万3,716円、教育費12億8,175万4,932円である。

不用額は5億4,330万9,175円であり、主なものは教育費1億3,581万4,068円、民生費1億2,484万7,284円、総務費1億1,948万2,031円である。

《目的別構成状況》

(単位：円、%)

区 分	平成25年度□	構 成 比
1 議 会 費	102,061,871	1.5
2 総 務 費	1,249,896,969	18.0
3 民 生 費	1,712,653,716	24.7
4 衛 生 費	464,820,659	6.7
5 労 働 費	958,500	0.0
6 農林水産業費	152,270,906	2.2
7 商 工 費	82,235,605	1.2
8 土 木 費	799,140,482	11.5
9 消 防 費	323,775,873	4.6
10 教 育 費	1,281,754,932	18.4
11 災害復旧費	0	0.0
12 公 債 費	776,328,312	11.2
13 諸 支 出 金	0	0.0
14 予 備 費	0	0.0
合 計	6,945,897,825	100.0

目的別に見た歳出の構成比は、民生費24.7%が最も高く、次いで教育費18.4%、総務費18.0%、土木費11.5%、公債費11.2%の順となっている。

#### (4) 特別会計

##### 国民健康保険事業特別会計

###### (ア) 決算収支

歳入	18億5,248万25円	(対予算現額 89.5%)
歳出	19億2,667万9,619円	(対予算現額 93.1%)
形式収支額	△7,419万9,594円	

(単位：円)

年度 区分	平成25年度
①歳入総額	1,852,480,025
②歳出総額	1,926,679,619
③形式収支額①－②	△74,199,594
④翌年度へ繰り越すべき財源	0
⑤実質収支額③－④	△74,199,594

###### (イ) 歳入

(単位：円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成25年度	2,070,000,000	2,242,468,490	1,852,480,025	12,955,025	377,033,440	89.5	82.6

決算額は18億5,248万25円で、収入率は、予算現額に対して89.5%、調定額に対して82.6%となっている。

歳入の主な構成は、国民健康保険税5億6,243万1,675円、国庫支出金4億1,027万1,298円、前期高齢者交付金3億3,046万2,794円、繰入金2億190万3,467円である。

収入未済額は3億7,703万3,440円で、国民健康保険税が1億4,630万7,625円、県支出金1億1,586万円、国庫支出金6,368万7,000円であり、主な理由は、合併に伴い、岩舟町としての出納整理期間が4日間であったことによるためであり、収入未済が生じたためである。

《国民健康保険税収入状況》

(単位:円・%)

区分 年度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成25年度	554,411,000	721,694,325	562,431,675	12,955,025	146,307,625	101.4	77.9

国民健康保険税の収入状況をみると、調定額に対する収入率は 77.9%と低く、収入未済額は 1 億 4,630 万 7,625 円となっている。

これは、合併に伴い岩舟町としての出納整理期間が 4 日間であったことによる収入率を表したため、低い率にとどまったものと考えられるが、国民健康保険税の収入悪化は、いずれの自治体においても重要な課題であるから、合併後においては積極的に納税指導を行うとともに徴収の強化に努め、収入率の向上を図りたい。

(ウ) 歳 出

(単位:円・%)

区分 年度	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額
平成25年度	2,070,000,000	1,926,679,619	93.1	0	143,320,381

決算額は 19 億 2,667 万 9,619 円で、予算現額に対して 93.1%の執行率となっている。

歳出の主な構成は、保険給付費 12 億 423 万 533 円、後期高齢者支援金等 2 億 8,362 万 895 円、共同事業拠出金 2 億 4,570 万 8,816 円、介護納付金 1 億 3,464 万 4,295 円である。

不用額は 1 億 4,332 万 381 円で、主なものは保険給付費 1 億 2,165 万 4,467 円、共同事業拠出金 1,745 万 1,184 円である。

## 後期高齢者医療特別会計

### (ア) 決算収支

歳入	1億5,756万5,648円 (対予算額 98.7%)
歳出	1億5,413万2,775円 (対予算額 96.6%)
形式収支額	343万2,873円

(単位：円)

区 分 \ 年 度	平成25年度
① 歳入総額	157,565,648
② 歳出総額	154,132,775
③ 形式収支額 ①-②	3,432,873
④ 翌年度へ繰り越すべき財源	0
⑤ 実質収支額 ③-④	3,432,873

### (イ) 歳入

(単位：円・%)

区 分 \ 年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成25年度	159,600,000	159,462,531	157,565,648	62,200	1,834,683	98.7	98.8

決算額は1億5,756万5,648円で、収入率は、予算現額に対して98.7%、調定額に対して98.8%となっている。

歳入の主な構成は、後期高齢者医療保険料1億1,479万8,850円、繰入金3,924万8,950円である。

収入未済額は183万4,683円で、後期高齢者医療保険料157万7,510円、諸収入25万7,173円である。これは、合併に伴い岩舟町としての出納整理期間が4日間であったことにより、収入未済が生じたためである。

(ウ) 歳 出

区 分 年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	執 行 率	翌年度繰越額	不 用 額
平成25年度	159,600,000	154,132,775	96.6	0	5,467,225

決算額は 1 億 5,413 万 2,775 円で、予算現額に対して 96.6%の執行率となっている。

歳出の構成は、後期高齢者医療広域連合納付金 1 億 5,057 万 7,790 円、総務費 196 万 4,406 円、後期高齢者健診事業費 159 万 579 円である。

不用額は 546 万 7,225 円で、主なものは後期高齢者医療広域連合納付金 390 万 2,210 円である。



## 介護保険事業特別会計

### (ア) 決算収支

歳入	13億4,675万4,796円 (対予算額 96.2%)
歳出	12億6,923万5,662円 (対予算額 90.6%)
形式収支額	7,751万9,134円

(単位：円)

区 分	平成25年度
① 歳入総額	1,346,754,796
② 歳出総額	1,269,235,662
③ 形式収支額 ①－②	77,519,134
④ 翌年度へ繰り越すべき財源	0
⑤ 実質収支額 ③－④	77,519,134

### (イ) 歳入

(単位：円・%)

区 分 年 度	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成25年度	1,400,600,000	1,380,474,658	1,346,754,796	502,830	33,217,032	96.2	97.6

決算額は13億4,675万4,796円で、収入率は、予算現額に対して96.2%、調定額に対して97.6%となっている。

歳入の主な構成は、支払基金交付金3億3,134万円、国庫支出金2億9,281万1,586円、保険料2億6,082万6,748円、繰入金2億2,755万8,000円である。

収入未済額は3,321万7,032円で、支払基金交付金が3,012万1,000円、保険料が309万6,032円である。これは、合併に伴い岩舟町としての出納整理期間が4日間であったことにより、収入未済が生じたためである。

(ウ) 歳 出

(単位:円・%)

区 分 年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	執 行 率	翌年度繰越額	不 用 額
平成25年度	1,400,600,000	1,269,235,662	90.6	0	131,364,338

決算額は 12 億 6,923 万 5,662 円で、予算現額に対して 90.6%の執行率となっている。

歳出の主な構成は、保険給付費 11 億 6,086 万 825 円、総務費 4,610 万 3,740 円、地域支援事業費 3,113 万 2,816 円、諸支出金 1,776 万 5,792 円である。

不用額は 1 億 3,136 万 4,338 円で、主なものは保険給付費 1 億 2,205 万 1,175 円、総務費 424 万 2,260 円、地域支援事業費 362 万 7,184 円である。

## 公共下水道事業特別会計

### (ア) 決算収支

歳入	4億8,846万7,863円	(対予算現額 97.1%)
歳出	4億8,595万4,294円	(対予算現額 96.6%)
形式収支額	251万3,569円	

(単位：円)

年度 区分	平成25年度
①歳入総額	488,467,863
②歳出総額	485,954,294
③形式収支額 ①－②	2,513,569
④翌年度へ繰り越すべき財源	0
⑤実質収支額 ③－④	2,513,569

### (イ) 歳入

(単位：円・%)

年度 区分	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
						対予算	対調定
平成25年度	502,829,000	515,397,901	488,467,863	2,569,574	24,360,464	97.1	94.8

決算額は4億8,846万7,863円で、収入率は、予算現額に対して97.1%、調定額に対して94.8%となっている。

歳入の主な構成は繰入金3億201万1,000円、使用料及び手数料8,117万3,160円、町債4,300万円である。

収入未済額は2,436万464円で、主なものは使用料及び手数料2,014万364円である。これは、合併に伴い岩舟町としての出納整理期間が4日間であったことにより、収入未済が生じたためである。

(ウ) 歳 出

(単位:円・%)

区 分 年 度	予 算 現 額	支 出 済 額	執 行 率	翌年度繰越額	不 用 額
平成25年度	502,829,000	485,954,294	96.6	0	16,874,706

決算額は 4 億 8,595 万 4,294 円で、予算現額に対して 96.6%の執行率となっている。

歳出の構成は、公債費 2 億 6,747 万 9,046 円、流域下水道費 9,107 万 7,709 円、公共下水道費 8,715 万 9,313 円である。

不用額は 1,687 万 4,706 円で、主なものは公共下水道費 950 万 8,687 円、総務費 516 万 1,774 円である。

## 7 財産に関する調書について

財産に関する調書について、当年度の異動を中心に審査したところ、調書の内容に誤りはなく、計数も正確であると認められた。

### ア 行政財産

公用財産である本庁舎その他の行政機関の土地の現在高は 22,682 m<sup>2</sup>である。建物の現在高は 4,484 m<sup>2</sup>で前年度と比較して 453 m<sup>2</sup>の増であった。主なものは、岩舟総合支所新築によるものである。

公共用財産である学校、公園その他の施設の土地の現在高は 456,600 m<sup>2</sup>、建物の現在高は 45,972 m<sup>2</sup>であった。

### イ 普通財産

#### (ア) 山林

土地の現在高は 683,299 m<sup>2</sup>で前年度と比較して 669,268 m<sup>2</sup>の増であった。これは小野寺財産区の解散により、岩舟町に帰属されたためである。

#### (イ) 普通財産及び貸付

土地の現在高は 66,443 m<sup>2</sup>で、建物の現在高は 1,786 m<sup>2</sup>あった。

### ウ 並木杉

日光杉並木オーナー制度の並木杉 1 本であった。

### エ 無体財産権

いわふねブランドマーク・キャラクター「コスモン」の著作権 1 件であった。

### オ 基金

財政調整基金ほか 10 基金が設置されており、主なものは財政調整基金 3 億 5,785 万 5,854 円、地域福祉基金 2 億 516 万 7,031 円、ふるさと整備基金 8,540 万 5,275 円、学校施設設備整備基金 7,161 万 3,815 円であった。

## 8 運用基金の状況について

運用基金として土地開発基金が設置され、当該基金は設置目的にそって運用され、その経理及び現金等の保管は適正であった。

当年度末現在高を見ると、現金についての決算年度末現在高は 50,163,505 円で土地及び他会計貸付金の決算年度末現在高は 0 円であった。